



2017年8月31日発行 会報第895号

今週のプログラム

(2017年8月31日 第895回例会)

卓話：「住友病院 教育入院について」

担当 高尾 修会員

次週のプログラム

(2017年9月7日 第896回例会)

卓話：「いろいろな話2」

担当 木下 吉宏会員

第894回例会 (2017年8月24日) の記録

「会長の時間」

水本 徹会長

先日21日にイタリア ナポリで発生した地震で11歳の男の子が弟を助けたニュースを聞き感動したのですが、実は今から1938年前の西暦79年8月24日は、イタリアのヴェスビウス火山が突然噴火し、麓のポンペイ市街が一晩で約8m火山灰により埋没した日です。

42年前初めての海外旅行でイタリアを訪れて、食事・コロッセオ・泉の広場等、感動の連続だったのですが、中でもとりわけポンペイの遺跡には衝撃が走ったのを覚えています。当時は漠然と火山灰でなぜ？と思っていたのですが、普賢岳・御嶽山のような火砕流だったのだと再認識しました。遺跡は当時のまま発掘され、民家・BAR・食堂・道路は今でも少し整備すれば使えるのではないかと思われるぐらいの状態でした。道路は現在のように車道の両側に一段高く歩道が整備され、交差点では信号跡はないものの横断歩道のような石もあり、如何に発展していたかに驚きました。

現在、私達の周りで起こる地震・津波・台風・洪水などの天災に人類は決して敵わないまでも、常に備えていれば被害を最小限に抑えられるという事を肝に銘じておきたいと思います。

<出席報告> 岸上 和典出席担当
会員数（内出席免除会員2名） 21名
本日の出席者数（内免除会員1名） 19名
（名誉会員 0名）
本日の出席率 95%
前々回（8月10日）は定款に基づく休会

<ロータリーソング>
♪少年時代♪ 全会員
<ピアノ演奏> 近藤 美里さん
1. Your Song
2. All By Myself
3. ミモザ

<幹事報告> 山本 友亮幹事
1. 米山館報が届きましたので、回覧致します。
2. 岡部名誉会員からはがきと小山名誉会員からのメールは、先日グループメールにて配信しましたが、ご覧になられていない方のために回覧致します。

<SAA 報告> 岸上 和典副 SAA

※スマイルボックス

水本会員 いつまで続くのかな？この暑さ！！
西本（明）会員 まだ残暑きびしい日が続きます。
黒川会員 野崎 Dr.頑張って来てますね！！ 山下会員 コメントなし

※ロータリー財団

藤田会員 本日国際奉仕フォーラム 皆様よろしくお祈いします。
山田会員 フォーラム担当です。皆さん力をお貸し下さい。宜しくお祈い致します。
岸上会員・山下会員コメントなし

※米山記念奨学会

松田会員 早退のおわび
藤田会員 山田国際奉仕委員長 本日よろしくお祈いします。
木下（健）会員 これだけ暑いと仕事になりません。
西本（詩）会員 残暑厳しいです。

※ラオス基金

黒川会員 ラオスも暑い～！！
西本（詩）会員 バテそうですが頑張っています。
山下会員・野崎会員コメントなし

※メイプル基金

西本（明）会員 短い盆休日も終わりました。
黒川会員 山田さん 頑張って
水島会員・木下（健）会員 山田委員長、フォーラムよろしくお祈い致します。
野崎会員 今日はロータリーの日、定番のカレーを作ってきました。
西本（詩）会員 久しぶりに見る観覧車、夕陽を浴びて、きれいでした。
山本（友）会員・山下会員 コメントなし

【国際奉仕フォーラム】

山田 克子委員長

ロータリーに入会して、以前も国際奉仕委員長を経験させて頂きました。

この前まではロータリーの手引き辞典やインターネットで、国際奉仕とは...をいつも調べて話してきました。しかし WCS の廃止さえも自身把握ができておらず、本日のフォーラムは私的な考えだけのフォーラムになるかも知れませんが、お許しください。

私達のクラブでは「ラオス農村部への保健衛生支援活動」として、子供達への駆虫薬投与や手洗いの指導を始め、村へのトイレ設置やミシンの寄贈などを行ってきました。これからもラオス支援の継続と共に、私が入会する約10年前に米山奨学生であったラカボサ・クレラさんの母国フィジーについて今期の内にクレラさんを例会に招いて、お話を伺いたいと考えています。

彼女は現在、日本のフィジー大使館で二等書記官として働いておられますが10年以上も前に巣立って行かれた米山奨学生が、いまだに当クラブにお中元を送って下さり、私達のクラブをずっと忘れずにいて下さる事に感激しています。

そんなご縁から思うのですが、ロータリークラブとは各委員会で構成されていますが、それらは個別の様ですが、実は一つに繋がってはたらくことがロータリーの根源かと感じるのです。

水本会長のご意見の様にクラブの支援が継続することの大切さとその後の持続と見守りを重んじていくことが支援活動への誇りと学びでもあると思います。

今回のフォーラムでは皆さんに下記についてご意見を伺いました。

- ◆今期のラオスへの支援をどのようにするのか。
- ◆ラオスに行かれた会員がご覧になったところ、現地では何が必要でどのような暮らし方が求められているのか。
- ◆今期ラオスに行きたいと望んでいる会員がおられるかどうか。

皆さんから出して頂いたご意見に沿って、ラオスの子供達の教育に関する支援などは山本加奈子さんと相談しながら活動を続けます。また、一度現地に行かれた会員は体調・スケジュールが合えば、また行きたいとのご意見を頂きました。

ラオスでは近年、急激なスマホ普及がある反面、まだ衛生に関心がない生活もあるようで活動内容を山本加奈子さんの情報をもとに考える必要があると思います。

現在、黒川会員・木下健治会員・山田克子会員がラオスに行けるようになる事を希望しています。ラオスへ行きたいと思っておられる他の会員もおられますが、行くことができない会員の皆さんにとってもラオスを身近に感じ、仲間を通して現地の子供達と触れ合っ、旅をしているような、そんな気持ちになれるようなものとして、クラブ一丸となって活動していくことの大切さを感じました。

<編集後記・追加情報・ チョット一言・ライブラリー・etc>

本日 ビジターなし

(文責 山田 克子)